



年越大祓

みくびだより

発行 御首神社社務所

御挨拶

拜啓 師走の候、皆様方におかれましては愈々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

今年の夏は、オリンピック・パラリンピックがロンドンにて盛大に開催されました。オリンピックに際しましてはメダル獲得数が最多でありましたアテネオリンピックの三十七個を塗り替え、今回日本史上最多のメダルの獲得に致りましたことは、誠に著れ高く喜ばしい限りであります。

また、オリンピック熱も少し落ち着きを見せ始めた九月中頃より、岐阜県で清流国体（国民体育大会）が開催され、開会式には、天皇皇后両陛下がご臨席あそばされました。

この度は、ご繁忙極まるご公務の最中三日間に亘り当県にご滞在になられ、「県美術館」や「障害福祉サービス事業所」・「長良川鶴飼伝承館」などをご訪問ご見学になられました。また、翌日には大垣市の「奥の細道むすびの地記念館」をご視察いただくご予定でしたが、台風十七号の接近に伴い、やむを得ず急遽ご還幸となりましたがこの度のご行啓に際しまして県民の一人として至極光栄に存じ上げる次第でございます。

さて、来年の秋には第六十二回神宮式年遷宮も遷御を迎え、長きにわたった遷宮の諸祭や準備もいよいよ晴れの御大儀にいたる事となります。ここに改めて聖寿の万歳と皇室の弥栄を心中よりお祈り申し上げます。

また、遷宮に先立ち来年夏に行われます「お白石持ち行事」は、二十年に一度と言う貴重な神事であり、当神社崇敬会は「特別神領民」の選考会を経まして、目度く行事に奉仕出来る運びとなりましたので、ご報告少々多くの会員の皆様のご参加をお待ち致しております。（六頁参照）

現在、新しい年を清々しく迎えられますように、職員一同万全の正月準備を勤めております。皆様方には、御首の大神様の御神徳を漏れなく拝受され、愈々の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

宮司 三浦 篤

『木花之佐久夜毗売』

(古事記より)



瀬瀬苔の命は、笠沙の岬にいたとても美しい女性が気になる、「もし宜しければ、お名前をお聞かせ下さい。」と声を掛けました。すると女性は「私は大山津見神の娘で、木花之佐久夜毗売と申します。」と答ました。そして瀬瀬苔の命は「一目惚れをしてみました。私と結婚してくださいませんか?」とプロポーズしたのです。それを聞いた木花之佐久夜毗売は「えっ!私ではお返事できません…。しかし父が良いと言えは、喜んでお嫁に参ります。」と言いました。

瀬瀬苔の命は早速、大山津見神の所へ使者を遣わせました。話を聞いた大山津見神は「何と!天照大御神さまの御子孫で

ある瀬瀬苔の命さまが、私の娘と結婚したいとは!こんな目出度い事は御座いません。」と、とても喜んで結婚を認めてくれました。そして何故か、木花之佐久夜毗売の姉である石長比売を呼ぶと「石長比売。お前も一緒に行き、二人の幸せが永遠にひびくようにお世話なさい。」と言ったのです。こうして結婚を許された瀬瀬苔の命の所へ、たぐせの嫁入り道具を征えた木花之佐久夜毗売と、その姉の石長比売がやって来ました。しかし瀬瀬苔の命は、「あなたを好きになっただ訳ではない!」と、石長比売を追い返してしまったのです。家に戻ってきた石長比売を見た大山津見神は「何と残念な事さ…。石長比売が傍に居れば瀬瀬苔の命さまの命は皆の



みづに永遠のものとなったのだが、木花之佐久夜毗売^{このはなのさくやひび}だけでは、花が咲き誇るみづに呆えはするが、桜の花のみづにその命は、儚いものとならぬもの…。」「と、とても悲しみました。

このような理由でこれ以降、天孫さまのお命は限りあるものとなられたと伝えられます。

さて木花之佐久夜毗売^{このはなのさくやひび}ですが、結婚した次の日に「瀬瀨^{せせ}さま、私はもうすぐ赤ちゃんが産まれそうです。」「と言ったのです。それを聞いた瀬瀨^{せせ}さまの命は「結婚の次の日に赤ちゃんが産まれるわけが無い！さては私の子では無いな！」と疑いました。木花之佐久夜毗売^{このはなのさくやひび}は「なぜ疑うのですか？」と悲しくなり、「分かりました！それでは一〇願いを込めましようー赤ちゃんが瀬瀨^{せせ}さまの子では無い場合は無事には産まれません、もしも瀬瀨^{せせ}さまの子であった場合にはどんな状況でも無事に産まれることですよー！」と言って、窓も無い小さな小屋を造りそこへ入りました。そして扉も塞いで、出口すら無くなりました。次に小屋に火を放ち、燃え盛る小屋の中で赤ちゃんを産む事にしました。瀬瀨^{せせ}さまの命は青い顔でその様子を見守るじかめりませんでした。

「オオオオーと一番火が燃え上がっているときに小屋の中か



ら赤ちゃんの泣き声が聞こえてきました。そして少ししてもう一人、泣き声が聞こえてきました。火が消えかける時にもう一人生まれました。燃え盛る火の中でも無事に赤ちゃんが生まれ、ホッとした瀬瀨^{せせ}さまの命は「あ、良かった。疑ってすまなかつた…。二度とこのような無茶はしないでくれ。」「と木花之佐久夜毗売^{このはなのさくやひび}と赤ちゃんを抱きしめました。

この時、最初に産まれた子は火照命^{かてるのみこと}、次に産まれた子は火須勢理命^{かすせりのみこと}、最後に産まれた子は火遠理命^{かえりのみこと}と名付けられました。

〇〇〇

◎おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃんへ！

古来より伝わる神話を、お子さまやお孫さまと一緒に読んでいただき、子供たちの情操教育の一助となりましたら幸いです。

祭事報告

▼ 崇敬会大祭

十一月三日午後二時齋行
 崇敬会大祭は、当神社崇敬会会
 員のための大祭で、当日は県内外
 より多くの参列があり、賑わいな
 らも肅々と齋行されました。また
 当日参列の会員（代表者）には大
 祭神符と記念品が授与されました。

▼ 七五三詣り 十月中旬より

十一月に入ると、可愛く華々し
 く着飾った子供たちとそのご家族
 がご参拝になり、紅葉に負けず劣
 らず終日境内を華やかに彩りまし
 た。また、参道西側にごいます
 七五三参拝記
 念看板の前で
 は、お父さん
 お母さんが、
 カメラの腕を
 競っておみえ
 でした。



諸祭典（抜粋）

- ▼ 月次祭
- ▼ 農休み祭
- ▼ 西宮神社例祭
- ▼ 末廣稲荷神社例祭
- ▼ 夏越大祓
- ▼ 神明神社例祭
- ▼ 新嘗祭

御首神社ホームページ 神職への質問Q&A

問 厄祓いを受ける時期はいつが
 良いのか分かりません。また、前
 厄・本厄・後厄とありますが、毎
 年御祈禱を受けたほうが良いので
 しょうか？

答 厄祓いをお受けられる時期に
 ついては、年の始めや節分前後な
 ど諸説ございますが、年が明けれ
 ばいつでも良いでしょう。昔から
 神社では数え年を基準にしており
 ますので、厄年の方は元旦より一
 年間に亘り該当いたしますので、
 年明けのお早い時期にご祈禱（お
 祓い）をお受けられる事をお勧め
 いたします。また、前厄・後厄も
 同様にご祈禱をお受けになられま
 して、三年間を無事にお過ごし頂
 きたく思います。

纏め ご祈禱には、年廻りや季節
 に関係するものが種々ございます
 が、必ずしもその時期に合わせご
 祈禱を受けなければならぬと言
 う訳ではございませんので、ご都
 合の良い時期にお受けになると宜
 しいかと存じます。ご不明な点は、
 気軽にお尋ね下さいませ。
 ご参拝お待ちしております。

二十一年に一度の機会です

伊勢神宮式年遷宮

お白石持行事

奉仕参加者募集

おしらいしもち
 当神社崇敬会では、来年十月に
 伊勢神宮式年遷宮が齋行されるに
 あたり、毎年恒例の伊勢神宮参拝
 研修旅行を取りやめ、八月末に特
 別神領民として式年遷宮伝統行事
 「お白石持行事」に一泊二日で参
 加する研修旅行を企画しました。

二十年に一度と言う貴重な機会
 でございますので、是非ご参加頂
 きますようご案内申し上げます。

お白石持行事参加要項

（抜粋）

- 奉曳場所 伊勢神宮（外宮）
- 期 日 平成二十五年
八月三十日（金）
～三十一日（土）
- 参加資格 御首神社崇敬会会員
- 募集人員 四十名（定員になり
次第締切）
- 会 費 一万五千元（お一人）
- 服 装 白丸首シャツ・白ス
ボン・白運動靴等

崇敬会入会のご案内

本会は、「古来首より上
 の諸病を憂うる者此の社に
 願えば靈験あらたか：：」
 と伝わりし御首神社の御神
 徳に感謝し、ご家族の諸病
 平癒・無病息災・家内安全
 生業繁栄並びに子孫繁栄を
 願う崇敬者の会として設立
 されました。

入会を望まれます方は、
 社務所までご一報下さい。
 早々に案内資料をご用意さ
 せて戴きます。

会員の特典（抜粋）

- ・ 入会報告祭の実施
- ・ 誕生特別祈禱の実施
及び祈禱神符の授与
- ・ 主要祭典のご案内
- ・ 昇殿参拝

会員の種類と年会費

- 個人 三千元
- 家族 五千元
- 特別 一万円
- 法人 二万円
- 名誉 三万円

〈お問い合わせ先〉

神社社務所まで
 ○五八四一九一三七〇〇

崇敬会 会員の皆様へ

前号の「みくびだより」にて、昇殿参拝についてご案内をさせて頂きました。今回は、正式参拝についてご説明させて頂きます。

始めに、正式参拝は厳粛にして正式な祭典を以ちまして神様に参拝いたしますので、お守り頂きました事が二点ございます。

- 一、相応しい身なり
男性は背広にネクタイ着用
女性はスーツ、またはそれに準じる服装
 - 一、玉串料
- 崇敬会の年会費相当

次に、参拝の流れをご説明します。受付に、会員証をご提示の上、玉串料をお納め下さい。続いて、受付の者が金幣串をお渡しします。そのまゝご祈祷控え室にお入りになり、金幣串にお名前を丁寧にお書きになり、お待ち下さい。暫くしますと、神職が迎えに上がりますので、追従し拝殿にお進みの上、お座り下さい。金幣串はそのまま両手でお持ち下さい。

正式参拝について

続いて、

- 一、修祓(おはらい)
 - 二、祝詞奏上
 - 三、金幣串奉奠
 - 四、撤饌授与・御神酒拝戴
- 以上となります。

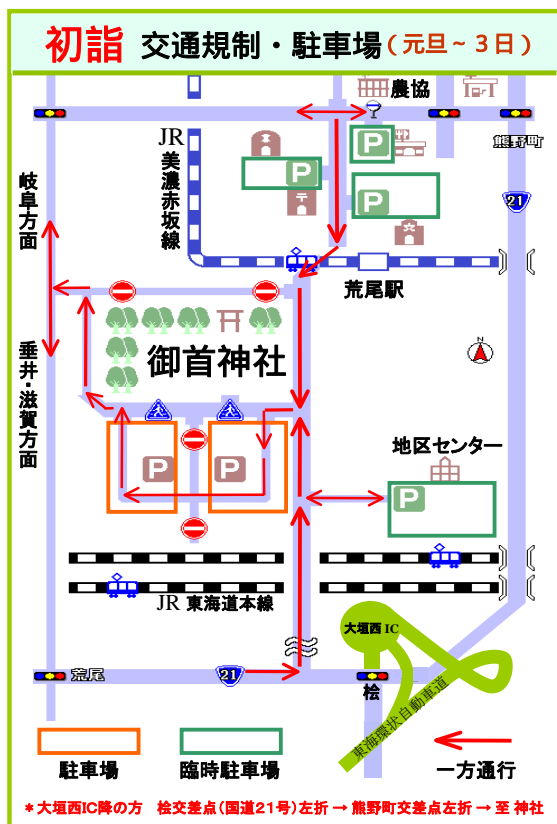
「正式参拝」は、一年を通じ執り行いますが、諸祈願を願われます皆さまとご一緒にお仕えさせて頂く場合が多いと思っております故、ご承知下さいまして、ご参拝賜りますようお願い申し上げます。

以上、ありがとうございました。



崇敬会からのご奉納

- 一、御首神社鳥居前特大幟
- 一、末廣稻荷神社参道幟



八方塞がりの皆さん

平成25年 八方塞がり早見表

方位図	16年生	昭和	16年生	抜粋
	25年生		7年生	
	34年生		16年生	
	43年生			
	52年生			
	61年生			
平成				

高島暦参考

ご祈祷をお受けになり
健康な毎日を通しましょう

平成25年 年祝い早見表(数え歳)

古稀	70歳	昭和 19 年生
喜寿	77歳	昭和 12 年生
傘寿	80歳	昭和 9 年生
米寿	88歳	大正 15 年生
卒寿	90歳	大正 13 年生
白寿	99歳	大正 4 年生

年祝いの皆さん

祭事案内



▼左義長 一月十五日 午前十時
皆様方が一年間に亘り御守護を戴かれました、ご神札や御守り又注連縄・お正月の注連飾りを忌み火にてお焚き上げいたします。
尚、注連飾りは当日お持ち下さいますようお願い申し上げます。
▼浄火祭 二月 三日 午前十時
左義長とよく混同されますが、この神事は皆様が奉納された祈願絵馬や帽子・金幣串、またご自宅の神棚等で祀られました紅白串を心願成就を願ってお焚き上げしますこの日に限り、ご不要のお帽子がございましたらお持ち頂き、神事終了後に各自でお焚き上げ下さい。神符・御守は、社務所でお預かり致しますが、注連飾り・注連縄は、お預かりもお焚き上げも出来ませんのでご注意下さい。

新年 授与品・縁起物



祈願絵馬



さくら鈴



干支土鈴

その他多数の授与品・縁起物(数量限定)がございます

諸祭典(抜粋)

- ▼月次祭
- ▼年越大祓
- ▼元旦祭
- ▼祈年祭
- ▼鍬山神社例祭
- ▼例大祭
- ▼南宮神社例祭
- ▼お田植え祭

初詣のご案内

例年、お正月三ヶ日(一月一日〜三日)の境内は大変な混雑を呈しております。



その為、来年よりお正月の三ヶ日に限り、混雑の緩和を図るために、拝殿前の鈴緒を外させて頂くことになりましたので、ご理解頂きたくご案内申し上げます。

正月御供 鏡餅料 受付中です

正月御供(一月末まで受付)
・酒類・お餅・米・野菜
果物・初穂料など



鏡餅料(十二月末まで受付)
・正月三日間、鏡餅を御神前にお供えいたします。千円以上のお申込になります。

*お下がりが授与されます。
*郵送・書留等による申込受付中。詳細は社務所まで。

平成25年 厄年表(数え歳)

	歳	厄年			
		前厄	本厄	後厄	後厄
男	61歳	昭和29年生	昭和28年生	昭和27年生	
	42歳	昭和48年生	昭和47年生	昭和46年生	
	25歳	平成2年生	平成元年	平成63年生	
女	37歳	昭和53年生	昭和52年生	昭和51年生	
	33歳	昭和57年生	昭和56年生	昭和55年生	
	19歳	平成8年生	平成7年生	平成6年生	

編集後記
今号の神話(古事記)の挿絵の製作者が諸般の事情により替わりました。

御首神社社務所
岐阜県大垣市荒尾町一八三〇の
TEL(〇五八四)九一三七〇〇
Eメール syanusyo@mikubi.or.jp